

・海外感染症流行情報 2024 年 2 月

(1) 全世界: COVID-19 の流行状況

欧米諸国で 23 年末から発生していた COVID-19 の冬の流行は収束に向かっています(米国 CDC 24-2-23、ECDC 24-2-23)。一方、中国や南米のチリやアルゼンチンで、報告数がやや増加傾向にあります(WHO corona 24-2-16)。ウイルスの種類はオミクロン株の JN.1 が世界的に 9 割近くを占めています。日本では COVID-19 の患者数が 2 月中旬にピークを迎えており、JN.1 に置き換わりつつあります(厚生労働省 24-2-16)。

(2) 全世界: インフルエンザの流行状況

インフルエンザの患者数は 2 月になり北米や中国で減少傾向にあります。ヨーロッパではまだ高い状態が続いています(WHO influenza 24-2-19)。また、シンガポールやマレーシアで患者数が増加しています。日本では 2 月もインフルエンザ患者数が増加傾向にあり、B 型の検出が多くなっています(厚生労働省 24-2-16)。

(3) アジア: カンボジアで鳥インフル患者が多発

カンボジアでは 24 年に鳥インフルエンザ H5N1 型の患者が 2 月下旬までに 5 人発生し、うち 1 人が死亡しました(ECDC 24-2-23)。23 年からの累積患者数は 11 人になります。患者はカンボジア全土で発生しており、家禽からの感染と推測されています(WHO 24-2-8)。

(4) アジア: タイでのジカ熱流行(続報)

タイで 23 年にジカ熱の患者が 700 人以上報告されたことを前号で紹介しました。24 年も 2 月下旬までに全土で 73 人の患者が発生しています(英国 NaTHNAC 24-2-23)。妊婦がジカ熱に感染すると、胎児に小頭症などの先天異常を起こす可能性があるため、タイに妊娠中の人滞る場合は、媒介蚊に刺されない対策を十分にとるようにしてください。

(5) アジア: 東南アジアでのデング熱流行

マレーシアとシンガポールではデング熱の流行が始まっており、両国とも昨年同期を上回る患者数が報告されています(WHO 西太平洋 24-2-15)。シンガポールでは大流行となった 22 年を上回る数で、

今後の流行状況に注意が必要です。

(6) アフリカ: アフリカ南部でコレラ流行

アフリカ南部のザンビアで 23 年 10 月からコレラの流行が発生しています。24 年 1 月中旬までに首都ルサカなどを中心に 1 万人以上の患者が発生し、400 人以上が死亡しました(英国 NaTHNAC 24-1-24)。隣国のジンバブエでも 7000 人以上のコレラ患者が発生しています(ProMED 24-2-7)。ザンビアとジンバブエ国境にあるビクトリア滝には、日本からの観光客も多く、滞在中は飲食物の注意に心がけてください。

(7) 中南米: デング熱患者が急増

米州保健機関によれば 24 年は 2 月上旬までに 67 万人のデング熱患者が発生しており、これは昨年同期の2倍以上の数になります(米州保健機関 24-2-16)。とくにブラジルでの患者発生が多く、中部の Minas Gerais 州などで 2 月中旬までに 65 万人の患者が報告されました(英国 NaTHNAC 24-2-16)。ブラジル政府は、武田薬品が開発したデング熱ワクチンの集団接種を開始する予定です。ブラジル以外でもメキシコやパラグアイなどでデング熱患者が増加しています。

(8) 中南米: 西部ウマ脳炎の流行拡大

アルゼンチンで西部ウマ脳炎の流行が 23 年末に発生したことを前号で報告しました。24 年に入ってもアルゼンチンでは中部などで患者発生が続いており、1 月 25 日から 2 月 2 日までに 30 人以上の患者(疑いを含む)が報告されました(ECDC 24-2-9)。また、隣国のウルグアイでも 2009 年以來の患者発生があり、2 月中旬までに 21 人の患者(疑いを含む)が報告されました(英国 NaTHNAC 24-2-19)。西部ウマ脳炎は蚊に媒介される感染症で、発熱とともに脳炎を起こす病気です。